

第5学年A組 外国語科学習指導案

授 業 者 奥 田 瑞 季
Mark Jones (ALT)
研究協力者 佐々木 雅 子

1 単元名 ふるさと秋田の魅力、発見！再発見！！

2 子どもと単元

(1) 子どもについて

本学級の子どもは、これまでの外国語科の学習を通して、自分の好きなものやできること、欲しいものなどについて簡単な英語で伝えたり、相手の話を聞いたりする活動に取り組んできた。ペアやグループでのやり取りにも意欲的に取り組む子どもが多く、既習表現を用いてコミュニケーションを図ろうとする姿が見られる。

その一方で、自分の考えや思いを英語で伝えることに自信をもてず、既習表現を十分に活用できない子どもも見られる。また、相手の話を聞くことはできても、自分から質問したり、リアクションを返したりしながら会話を広げることに課題がある子どもも少なくない。特に、外国語によるやり取りでは、答えることに意識が向き、相手に関心を示しながら聞く姿勢が十分ではない場面も見受けられる。

(2) 単元について

本単元は、教科書「お互いの魅力発見」の学習を基に、自分たちの住む秋田の魅力について改めて考え、外国語を用いて伝え合う活動へ発展させたものである。さらに、コミュニケーションを円滑にするための会話の繋げ方にも着目する。秋田の魅力を発見し、再発見する目的のために何とか表現したい、話をしたいという意欲にも繋がる。

外国語のみならずコミュニケーションでは、自分のことを話すだけでなく、相手の話を聞き、それに対して反応することが重要であると考え。もっと知りたいと意欲をもち、質問をする側が深掘りできるような言い回しを用いることで、相手に関心をもちて話を聞いていることを伝えることができる。そうすることで、相手も安心して話すことができ、より豊かなコミュニケーションにつながる。加えて、留学生は日本の地域について知りたいという立場にあり、児童がふるさとの魅力を英語で伝える目的や必要感をもちやすい。互いの文化や地域の違い・よさを交流できるため、実際のコミュニケーションの場として適している。

(3) 指導について

導入では、ALTや留学生との交流場面を示し、児童が既習表現を使って伝えたり質問したりする目的を明確にもてるようにする。交流前には“I like Akita, because …”や“My favorite place is …”などの表現に加えて、“Me too.” “How about you?”などのリアクションや質問表現を練習する場を設ける。相手の話を聞いて反応することや質問を重ねることが会話の継続につながるということに気付くことができるように、教師とALTでモデルを示す。

交流活動では、子どもが秋田の魅力を紹介した後に必ず留学生からの質問に答えて会話を繋げるように促し、相手への関心を表しながらやり取りできるよう支援する。具体的には、今まで学習したフレーズを使って“What is it?”、“Do you like ~?” “Do you have ~?”と質問したり、“My favorite food is kiritampo.”、“My favorite place is Lake Tazawa.”、“Akita has beautiful nature.”と伝えたりして、やり取りをする。活動後には、秋田の魅力を再発見できたか振り返るために、どのような表現を使い、どのような質問で会話が続いたのか共有する場を設定する。これらの手立てにより、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる資質・能力の向上を図る。

3 単元の目標〈記号は本校の資質・能力表による〉

- (1) 簡単な語句や基本的な表現を聞き取り、自分のことや身近な事柄について伝え合うことができる。 〈2・12〉
- (2) 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現

を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりすることができる。〈14〉

- (3) 慣れ親しんだ表現や自分の知る範囲の語彙を用いて、実際のコミュニケーションにおいて活用しようとする。〈イ〉

4 単元の構想（総時数 4 時間）

Unit1 Hello, friends! Unit2 Happy Birthday! Unit3 Can you play dodgeball?

Check Your Steps 1

自分のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えることができる。

本単元

時間	学習活動 (・は予想される子どもの反応)	教師の主な支援	評価 (本校の資質・能力との関連)
1	(1) 留学生との交流に向けて、秋田の魅力と留学生のふるさとの魅力について考える。 ・留学生が住んでいた国にはどんな魅力があるのかな。 ・もしかすると、秋田と似ている文化があるかもしれないね。 ・留学生は秋田をどう思っているかな。	・学習への見通しをもたせられるように、留学生との交流の目的を共有する。 ・お互いのふるさとの魅力を引き出すために、どのような会話をしたいのかまとめる時間を設定する。	・慣れ親しんだ表現や自分の知る範囲の語彙を用いて、実際のコミュニケーションにおいて活用しようと準備する。 〈2〉
Goal of Unit ALTや留学生が感じているふるさとの魅力について会話を をして、秋田の魅力を再発見しよう。			
2	(2) 留学生との交流① 留学生が感じるふるさとの魅力について会話する。 ・エジプトにも日本と同じような豆料理があって似ているね。 ・タイのガパオライス、給食でも食べたことがあるね。	・留学生と会話する時に使える “What is it?”、“Do you like ~?” “Do you have ~?” “Me too.” などの語句や表現を確認する。 ・相手意識をもちながら聞くことができるように、教師がグループを机間指導し、相手の話に応じた反応や質問を促す。	・留学生から聞いたことから、簡単な語句や基本的な表現を用いて会話を繋げることができる。 〈12〉
3 本 時	(3) 留学生との交流② 秋田の魅力を伝える。 ・秋田の魅力をたくさん伝えたい。 ・お互いのふるさとの似ているところと、違うところに注目して伝えたと分かりやすいかな。 ・意外なところによりアクションがあったから、そこをもっと掘り下げたかったな。	・交流の前に “My favorite food is kiritampo.”、“Akita has beautiful nature.” などの伝え方や、“What do you like in Akita?”、“What is your favorite place?”、“Why do you like it?” などの質問の仕方を確認する。 ・ワークシートを活用し、聞き取った内容を記録する時間を設定する。	・秋田の魅力について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。 〈14〉
4	(4) 交流活動を振り返り、再発見した秋田の魅力について共有する。 ・秋田にしかない食文化やお祭りなどのたくさんの魅力があると分かった。	・発表しやすいように、パワーポイントや新聞を作成する。 ・友達の発表と比較しながら振り返る場を設ける。	・秋田の魅力について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちを、簡単な語句や基本的な

	・リアクションをすると会話が続いた。 ・もっと秋田のことを皆に知って欲しい。		表現を用いてコミュニケーションにおいて活用しようとする。〈イ〉
--	---	--	---------------------------------

◎本単元で育む主な資質・能力 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。 〈14〉			
--	--	--	--



第5学年 Check Your Steps 3 おすすめしたい！日本の素敵 日本の魅力を伝えるために、紹介したい都道府県や各地にゆかりのある（有名）人などについて、内容を整理した上で考えや気持ちなどを発表することができる。

5 本時の実際（3／4）

(1) ねらい 簡単な語句や基本的な表現に着目して、留学生が感じている秋田の魅力をよく知るための会話を通して、伝えたり質問したりすることができる。〈14〉

(2) 展開

○自律的に学習を進めるための支援

時間	学習活動	教師の支援 評価
5 分	① めあてを確認する。 Goal of Unit ALT や留学生が感じている地域の魅力について会話をして、秋田の魅力を再発見しよう。 Today's Goal 秋田の魅力を伝えて、会話を通して留学生が感じる秋田の魅力をもっと引き出そう。	・ 本時の見通しをもつことができるように、めあてを確認する。
15 分	② グループで留学生と交流し、秋田の魅力を再発見する。 【目的や相手意識から考えている】 ・ 前回話したときに、似ている有名な食べ物があつたから、それについて紹介してみよう。 ・ 留学生はなぜその秋田の魅力が知りたかったのかな。 【英語表現から考えている】 ・ I like がよいのかな。 - What?がよいのかな。 ・ How about you?で尋ねてみよう。 ▲英語で何と言えばよいのか分からない。 【伝え方から考えている】 ・ イラストに描いて、伝えてみようかな。 ・ 相手の答えにリアクションしてみよう。 ▲絵を描くのも苦手だし、写真も何を使えばよいかわからない。	・ 交流の前に “My favorite food is kiritampo.”、“Akita has beautiful nature.”などの伝え方や、“What do you like in Akita?”、“What is your favorite place?” “Why do you like it?”などの質問の仕方を確認できるように、教師と ALT でモデル会話をする。 ・ ワークシートを活用し、聞き取った内容を記録できるような時間を設定する。 ・ やり取りを続けることを楽しみながら会話できるように、迷ったときは ALT に聞いてもよいことを確認したり、相手の話を受けて会話を広げるための質問例を示した English Help を準備したりしておく。
20 分	③ 中間発表をし、再度留学生と会話する。 ・ リアクションを工夫すると、もっとよく伝えてることができて、会話が弾んだ。 ・ もっと聞いてみたい。	○手本となる会話を共有することができるように、中間発表の場を設定し、秋田の魅力を意識したやり取りにつながる表現を用いたり、追加の質問をして話題を広げたりしている様子を全体で取り上げ、価値付ける。

5 分	④ 本時の学習を振り返る。 ・秋田の魅力をもっとよく知れて良かった。 ・言い方が分かって自信がついた。 ・困ったときは～すれば、上手く伝え合える。	簡単な語句や基本的な表現に着目して、留学生が感じている秋田の魅力をよく知るための会話を通して、伝えたり質問したりしている。 〈14〉(発言・振り返りシート) ・「Today's Goal」を確認しながら振り返り、自己の変容に気付けるよう促す。
-----	--	--



令和 8 年度 外国語科・外国語活動実践・研究計画

部 員 ○石田智之、山崎泰明、奥田瑞季、大森果歩、佐藤咲紀、丹理人

Ⅰ 外国語科・外国語活動における
自律した学習者の姿

- 1 コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、必要な語句や表現、方法を選択・決定し、言語材料を駆使して伝え合う姿
- 2 外国語を用いて相互に理解し合う自然なやり取りの中で、相手に配慮しながら伝えたいという強い思いをもって、活動上の困難を乗り越えるために既習表現を活用したり新たな表現を使ったりしようとしながら、表現の幅を広げる姿

Ⅱ 外国語科・外国語活動における
授業デザインの取組

- A 伝えたいという強い思いを基に、子どもが使いたい表現や方法を選びながら、相手に伝わる実感を伴う体験を積み重ねる活動の工夫
- B 表情豊かなやり取りなどのモデル提示や相手との関わりを通して、必要な表現の幅を広げていく学びのスタイルの構築

Ⅲ 1・2 年次研究で生成した仮説

	問題解決に没頭する子どもの姿 (数字は、自律した学習者との関連)	要因・手立て (英字は、授業デザインの取組との関連)
一 年 次	自分が伝えたいことが伝わるように、困ったときには周囲に助けを求めたり、手元にあるものを使ったりしながら、その場にある、自分がもてる力を総動員して英語でコミュニケーションを図った姿 (1)	あまりよく理解していない相手であり、意思疎通するツールが英語しかない相手との交流の場を設定したこと (A)
	その場にいる相手と温かい関わりをもちながら、コミュニケーションを続けようとした姿 (2)	友達になった相手を、他の人に紹介する活動を、単元の最後に設定したこと (B)
二 年 次		

Ⅳ 1 年次研究の課題と、改善するための手立て

	課題となった子どもの姿 (数字は、自律した学習者との関連)	改善するための手立て (英字は、授業デザインの取組との関連)
一 年 次	相手と友達になろうと英語で伝え合う中で、留学生と温かい関わりをもちながら安心してやり取りを楽しむことができた一方で、言いたいことがスッと出てこないもどかしさを感じ、失敗への恐れもあつてか発話をためらった姿 (1、2)	これまでの慣れ親しみが一過性に終わっていたことが原因と考えられるため、既習表現の取り扱いを単元のみで終わらせず、系統的・横断的に「慣れ親しみを直す場」を意識的に設けることで、子どもにとっての本質的な慣れ親しみとなり、身に付いて使える英語にする。(A)

令和8年度「外国語科・外国語活動の資質・能力」表

※□は取り扱い学年，■は定着学年を示す。

内 容			学習指導要領との関連内容		3年	4年	5年	6年
			3・4年	5・6年				
外国語科・外国語活動の 学びに向かう力，人間性等	ア	外国語の音声や文字，基本的な表現に慣れ親しもうとする。	全般	全般	□	□	■	■
	イ	よりよいコミュニケーションの仕方を意識して，進んで話したり聞いたりしようとする。	全般	聞くこと 話すこと[やり取り]	□	□	■	■
	ウ	外国語の文字や基本的な文のしくみに関心をもち，進んで書こうとする。		書くこと			■	■
	エ	慣れ親しんだ音声と文字を関連させて，基本的な表現・語彙からその意味を推測しながら読もうとする。		読むこと			■	■
	オ	慣れ親しんだ表現や自分の知る範囲の語彙を用いて，実際のコミュニケーションにおいて活用しようとする。	全般	全般	□	□	■	■

各領域の付けたい力 聞くこと	1	ゆっくりはっきりと話された際に，自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取る。	(1)ア		□	□	■	■
	2	ゆっくりはっきりと話されれば，自分のことや身近で簡単な事柄について，簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。		(1)ア			■	■
	3	ゆっくりはっきりと話された際に，身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かる。	(1)イ		□	□	■	■
	4	ゆっくりはっきりと話されれば，日常生活に関する身近で簡単な事柄について，具体的な情報を聞き取ることができる。		(1)イ			■	■
	5	文字の読み方が発音されるのを聞いた際に，どの文字であるかが分かる。	(1)ウ		□	□	■	■
	6	ゆっくりはっきりと話されれば，日常生活に関する身近で簡単な事柄について，短い話の概要を捉えることができる。		(1)ウ			■	■
各領域の付けたい力 読むこと	7	活字体で書かれた文字を識別し，その読み方を発音することができる。		(2)ア			■	■
	8	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。		(2)イ			■	■
各領域の付けたい力 話すこと[やり取り]	9	基本的な表現を用いて挨拶，感謝，簡単な指示をしたり，それらに応じたりする。	(2)ア		□	□	■	■
	10	基本的な表現を用いて指示，依頼をしたり，それらに応じたりすることができる。		(3)ア			■	■
	11	自分のことや身の回りの物について，動作を交えながら，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合う。	(2)イ		□	□	■	■
	12	日常生活に関する身近で簡単な事柄について，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。		(3)イ			■	■
	13	サポートを受けて，自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりする。	(2)ウ		□	□	■	■
	14	自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして，伝え合うことができる。		(3)ウ			■	■
各領域の付けたい力 話すこと[発表]	15	身の回りの物について，人前で実物などを見せながら，簡単な語句や基本的な表現を用いて話す。	(3)ア		□	□	■	■
	16	日常生活に関する身近で簡単な事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。		(4)ア			■	■
	17	自分のことについて，人前で実物などを見せながら，簡単な語句や基本的な表現を用いて話す。	(3)イ		□	□	■	■
	18	自分のことについて，伝えようとする内容を整理した上で，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。		(4)イ			■	■
	19	日常生活に関する身近で簡単な事柄について，人前で実物などを見せながら，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて話す。	(3)ウ		□	□	■	■
	20	身近で簡単な事柄について，伝えようとする内容を整理した上で，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。		(4)ウ			■	■
各領域の付けたい力 書くこと	21	大文字，小文字を活字体で書くことができるようにする。また，語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。		(5)ア			■	■
	22	自分のことや身近で簡単な事柄について，例文を参考に，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。		(5)イ			■	■

＜外国語科・外国語活動＞の学びを深める「見方・考え方」

- a よりよいコミュニケーションのために「言語」に着目し，外国語の音声，文字，単語，表現，語順などに慣れ親しむ。
- b よりよいコミュニケーションのために「文化理解」に着目し，外国語や相手，それらの背景にある文化を尊重し，相手に配慮しながら外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。
- c よりよいコミュニケーションのために「コミュニケーション方略」に着目し，言語の働き・役割を理解するとともに，非言語も含めた伝え方・聞き方の工夫をしようとする。

＜各領域の学びを深める「見方・考え方」＞

- d 聞くこと 相手が伝えようとする話の内容に着目して，類推しながら大切な事柄が何かを考えて聞く。
- e 読むこと アルファベットの並びに着目して，音声で慣れ親しんだ基本表現や語句の意味が分かり，発音する。
- f 話すこと[やり取り] 話題の内容や相手の表情などに着目して，基本的な表現や自分の知る範囲の表現，伝え方の工夫を組み合わせを考えて話す。
- g 話すこと[発表] 話題の内容に着目して，伝えたいことを整理して基本的な表現や伝え方の工夫を組み合わせで話す。
- h 書くこと 例文や語順に着目して，音声で慣れ親しんだ基本表現や語句を組み合わせで書く。